

事業コード	H17-建-新-5		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方道路交付金事業(交通安全)		部局課室名	建設交通部 道路環境課	
事業種別	歩道等		班 名	道路環境推進班 (tel) 018-860-2488	
路線名等	主要地方道 常盤峰浜線		担当課長名	虻川 憲悦	
箇所名	峰浜村大沢		担当者名	渡辺 博	
総合計画との関連	政策コード	C	政 策 名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	03	施 策 名	交通安全や地域安全対策の推進	
	指標コード	02	施策目標(指標)名	歩道等整備率	

1. 事業の概要

事業期間	H18 ~ H21 (4年)		総事業費	3.5億円	国庫補助率	5.5/10	
事業規模	延長L=600m 幅員W=9.5m(2.5-0.75-5.5-0.75)						
事業の立案に至る背景	本路線は沿線に埴川小学校の他、保育所、健康センター等があり、通学児童等の歩行者が多いにもかかわらず、歩道が狭いうえに連続性が無く段差や路上障害物が点在している。さらに冬場は既設の歩道が狭いことから、歩道除雪が出来なく、歩道に積もった雪のため車道を歩かなければならない箇所もあり、歩行者は常に危険な状態にさらされている。このため、平成18年度より歩道の整備を行い、安全かつ快適な歩行空間の確保を図るものである。						
事業目的	交通安全施設の整備により、事故の減少、歩行者の安全を確保し、交通環境の改善を図る。						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度以降
	事業費		350,000	60,000	120,000	100,000	70,000
	経費 内訳	工事費	120,000			53,000	67,000
		用補費	204,200	47,100	114,600	42,500	
		その他	25,800	12,900	5,400	4,500	3,000
	財源 内訳	国庫補助	192,500	33,000	66,000	55,000	38,500
		県 債	131,000	22,000	45,000	38,000	26,000
その他							
一般財源		26,500	5,000	9,000	7,000	5,500	
事業内容			詳細設計 用地補償	用地補償	用地補償 歩道工	歩道工	
調査経緯	なし						
上位計画での位置付け	総合計画における施策「交通安全や地域安全対策の推進」を支援する事業						
関連プロジェクト等	なし						
事業を取り巻く情勢の変化	当該区間は近年事故が発生しており、道路利用者にとって危険な状態である。 事故件数H10:1件 H11:1件 H13:1件						
事業効率把握の手法	指標名	歩道等整備率					
	指標式	歩道整備済延長/県道路延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	38 %		データ等の出典	なし		
	達成値 b	35 %					
	達成率 b/a	92 %		把握の時期	平成17年 3月		

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	12時間自動車交通量が1,498台で歩行者数76人のうち学童・園児数が51人と交通弱者が多い。 計画区間前後に歩道があり、歩道の連続性がない。 また通学路指定区域であり早急な歩道設置が必要である。	20点
緊 急 性	本路線は、交通安全指定道路になっており交通安全上の重要路線である。	10点
有 効 性	事業が実施されることにより歩道が繋がり歩行者の安全性が向上する。	20点
効 率 性	事故状況は過去5年間では事故件数が1件であるが、平成10年以降では3件発生している。	15点
熟 度	峰浜村役場及び地元住民より歩道整備への強い要望がある。	20点
判 定	ランク () 全観点で高い得点となっており、交通事故を軽減し、生活の安全を確保する有効な事業箇所であり、実施すべきと考える。	85点
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総 合 評 価	選定 改善して選定 保留
	当該路線の沿線には、小学校や保育所、健康センターなどが立地しているにもかかわらず、歩道が狭く除雪もままならないことから、冬期には車道を歩かなければならないなど、歩行者にとっては、危険な道路となっている。このため、歩道の拡幅などを行うものであり、事業実施は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意 見 内 容	選定 改善して選定 保留
	歩道が一部狭小ではあるものの、一連の歩道は整備されており、通過交通量が少ないことから、緊急性は低いものとする。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総 合 評 価	選定 改善して選定 保留
	用地補償費を含めた全体コストの縮減手法を再検討すべきである。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

--

7. 公共事業評価専門委員会意見

--

評価種別 新規箇所評価
 適用基準名 交通安全事業（歩道）

事業コード(H17-建-新-5)
 箇所名 (峰浜村大沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の利用状況				
	1 2 時間自動車交通量	1,000台/日以上	5	5	通学路以外の場合
		1,000台/日未満	0		
	歩行者交通量	500台/日以上	5	5	通学路の場合
		500台/日未満	0		
	歩道の連続性	100人/日以上	5	5	通学路以外の場合
		100人/日未満	0		
	歩行者・自転車交通量	学童・園児 40人/日以上	5	5	通学路の場合
		学童・園児 40人/日未満	0		
	道路幅員	計画区間前後に歩道あり	5	5	概ね500m以内
計画区間前後に歩道なし		0			
計	歩行者・自転車交通量	150人台以上	5	0	
	道路幅員	150人台未満	0		
緊急性	交通安全指定道路	車道幅員（路肩含む）5.5m以上	5	5	一方通行の場合3.5m以上
	交通安全指定道路	車道幅員（路肩含む）5.5m未満	0		
計			25	20	
	交通安全指定道路	指定あり	10	10	
有効性	交通安全指定道路	指定なし	0		
	計		10	10	
有効性	歩行者等の安全性向上				
	歩行者等の安全性向上	あり	20	20	
計		なし	0		
			20	20	
効率性	事故状況（過去5箇年）				
	事故状況（過去5箇年）	6件以上	25	15	
	1～5件	15			
	なし	0			
計			25	15	
熟度	地元ニーズ				
	地元ニーズ	文書要望あり	20	20	
計		口頭要望あり	10		
		要望なし	0		
			20	20	
合計			100	85	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		